

第51回 工場見学会 大正製薬株式会社 大宮工場見学記

Plant Tour Report: Omiya factory, TAISHO PHARMACEUTICAL CO., LTD.



大正製薬株式会社 大宮工場

庄司 英生

Hidenari SHOJI

(株)大塚製薬工場
生産システム開発部

Manufacturing Systems
Development Department
Otsuka Pharmaceutical
Factory, Inc.

1 はじめに

工場見学委員会委員長

宮嶋 勝春 様

2012年10月19日(金)一般社団法人製剤機械技術学会主催の第51回工場見学会が大正製薬株式会社大宮工場にて開催された。大正製薬株式会社様においては、2011年3月11日に見学会が開催されたものの、東日本大震災発生にて中断となり、その後多くの参加者からの強い要望により、改めて開催の機会を得、参加者数は100名を越す見学会となった。

3 会社概要

大正製薬株式会社は1912年(大正元年)に創業し、2012年に100周年を迎える。資本金298億、売上1938億(2012年3月期)、従業員数3435人。経営理念として『健康と美を願う生活者に納得していただける、優れた医薬品・健康関連商品、情報及びサービスを、社会から支持される方法で創造・提供することにより、社会へ貢献する。』を掲げ、ドリンク剤「リポビタンD」、かぜ薬「パブロン」、発毛剤「リアップ」などのトップシェアブランドがある”セルフメディケーション事業”と、マクロライド系抗生物質製剤「クラリス」に代表される“医療用医薬品事業”との二つの事業を両輪としてグローバルに展開している。国内の生産拠点は、大宮工場、ドリンク専用工場である羽生工場、岡山工場の三拠点を有する。

2 工場見学スケジュール

13:25	開会の挨拶 工場見学委員会委員 河合正雄 様
13:30	会社概要、工場概要説明 大宮工場長 牧 亨 様
14:00	休憩
14:10	工場見学 ・内服固形製剤 ・ドリンク剤工場 ・大正物流センター
16:00	質疑応答
16:30	閉会の挨拶

4 大宮工場概要

技術が具現化されてはじめて達成されていると感じた。

1962年12月創業と、三工場の中で最も歴史ある工場である。敷地面積は50,000坪（東京ドーム3.5個分）。製造工場としては、原薬製造、内服固形製剤、ドリンク剤、半固形製剤、外用液剤に至るまで多種多様な製品の製造を担い、三拠点の中核となるマザーファクトリーの機能を果たしている。同敷地内には、総合研究所が隣接し、新製品のスピーディーな工業化や、また生産本部内の生産技術研究所では、製剤設計、エンジニアリング、容器設計などの検討機能を保有し、既存製品の安定供給が可能な体制となっている。

5 工場見学

2号棟（ドリンク剤）

玄関ホールでは、環境活動に対する取り組みを、原材料包装材料とリサイクル品を展示し、ゼロエミッションの維持・継続について非常に分かりやすく説明を受けた。その後、見学者通路からの製造ライン見学であるが、

- ・20,000Lタンクを有する調合ライン
- ・充填キャップ巻締設備

（世界一の能力：1200本／分）

- ・パストライザー、ラベラー
 - ・多品種製品の多形態包装が可能な包装設備
- （個包装、シュリンク包装、クラスターパック）

等の製造設備規模は勿論であるが、製造現場内に殆ど人の姿を認めないことに非常に驚いた。製造人員は16名とのことであるが、省人化の実現は、自動調合や、包装ラインへの天井走行台車による包材供給等様々な

1号棟（内服固形製剤）

続いて見学させていただいたのが、錠剤・カプセル剤・顆粒剤の製造工場であるが、造粒・整粒・混合・打錠・コーティングの工程が上層、PTP包装・最終包装が下層に配置される多品種製品の製造ラインであった。

6 物流センター

見学の最後として大正物流センターを訪れた。物流センターでは、生産工場から製品を受け入れる際無人搬送台車にて自動倉庫に搬送されていた。バーコード情報を元に、大規模ピースソーター（全24レーン）にて納入レベルまでの仕分が実施される。一連の流れが自動化された物流システムで構築されていた。その処理数は一日40,000点超であり、このシステムをもって、卸を介さず直接製品を薬局・薬店さんに提供する直販体制を実現している。

7 おわりに

製造ラインから物流センターまでの見学を通し、高度に自動化されたシステムを目の当たりにして、効率化と品質の向上双方を満足する要素を多く学んだ。

このような学びの機会を作って頂いた大正製薬株式会社大宮工場の皆様ならびに製剤機械技術学会の関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

各班毎の集合写真

